第 47 回技能五輪全国大会「とび」職種　競技課題（真づか小屋組）

次の注意事項に従って、競技課題を行いなさい。

1. 競技時間

標　準　時　間	2 時間 00 分
打 切 り 時 間	2 時間 30 分

2. 注意事項

(1)　支給された材料の品名、数量等が「競技課題」のとおりであることを確認すること。
(2)　支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
(3)　競技開始後は、原則として、支給材料の再支給をしない。
　ただし、クランプ不良の場合は、交換する。
(4)　支給材料以外の材料は、一切使用しないこと。
(5)　使用工具等は、使用工具等一覧表で指定した以外のものを使用しないこと。
(6)　競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
(7)　作業時の服装等は、作業に適したものであり、上衣は、長そでとすること。
　(手袋、安全帯及び保護帽を含む。)
(8)　標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
(9)　作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

3. 課題（真づか小屋組）

次の注意事項及び仕様に従って、別図に示す真づか小屋組を鋼管を使用して組み立てなさい。

(1)　注意事項
イ. 作業終了の意思表示をする時期は、仮つなぎ、とびつき、仮柱、仮ひうち等を取り外して、整理整とんをした時点とすること。
ロ・　むな木及びつか等の上部への取付け作業は、とびつきを設けて行い、高所作業として扱って、安全帯を使用すること。
ハ. 仮ひうち及び仮柱は、必ず取り付けて作業を行うこと。
ニ. 仮つなぎ材などは、支給材料を一時転用すること。
ホ. クランプの先付けは行わないこととする。
ヘ. 柱位置の割り出し及び足場板の配置の時間は、競技時間に含む。

(2)　仕　　様
イ. 寸法は、平面図、小屋伏せ図、A－A'断面図及び B－B'断面図に示すとおりとすること。
ロ. 柱の根元は、ベース金具を足場板にくぎで 4 箇所止めによって固定すること。また、柱の固定は、仮つなぎなどをとって行うこと。
ハ. 陸ばり及びけたは、柱の外側に取り付けること。
ニ. 合掌は、むな木の上部に取り付けるものとし、合掌の取り合い部分は、突き付けとすること。
ホ. 合掌の下部は、けたの上端で柱に取り付けること。
ヘ. けたは、陸ばりの上端で柱に取り付けること。
ト. 柱を除く各部材の出寸法は、交わる部材の中心線より、各部材の取り付け位置よりの径の 1.1 倍～1.5 倍程度とする。
チ. 基準柱は、正面に向かって左側とすること。
リ. 単管の緊結には、クランプを使用すること。
　また、部材が直交する箇所の緊結には、直交クランプを使用すること。
ヌ. 母屋は合掌に取り付けること。

(3)　支給材料

寸法又は規格及び数量 / 品名	寸法又は規格	数量
足場板	足場板、長さ　4.0ｍ	足場板、2 枚
ベース金具		8 個 (仮柱用も含む)
柱	単管　長さ　1.8ｍ	4 本
仮柱	〃　1.8ｍ	4 本
陸ばり	〃　4.0ｍ	2 本
けた	〃　3.0ｍ	2 本
つか	〃　1.1ｍ	3 本
つか	〃　70 ｃｍ	4 本
むな木	〃　3.0ｍ	2 本
合掌	〃　2.5ｍ	6 本
母屋	〃　3.0ｍ	6 本
方づえ	〃　1.5ｍ	8 本
つなぎ材	〃　3.0ｍ	1 本
斜材	〃　1.6ｍ	2 本
斜材	〃　1.1ｍ	4 本
とびつき用	〃　4.0ｍ	2 本
とびつき用	〃　3.0ｍ	2 本
仮ひうち用	〃　2.0ｍ	1 本
直交クランプ		59 個
自在クランプ		38 個
3 連直交クランプ		3 個
くぎ	40ｍｍ～60ｍｍ	16 本

(注)単管は、すべて超軽量単管足場「スーパーライト７００」を使用

(4)　持参するもの（真づか小屋組）

品名	寸法又は規格	数量	備考
折り尺又は鋼製ｽｹｰﾙ		1	
ラチェットスパナ	落下防止用具をつける	1	
水平器		1	注 2
金づち		1	
かじや(バール)	40cm 程度のもの	1	
作業服等	上衣は長そでのもの	1 式	
手袋		1 組	
安全帯		1	
保護帽		1	

(注１) 使用工具等は、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することはさしつかえない。

(注２) 水平器は、足場板を水平に置くためだけに使用する。

(5)　会場に準備されているもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
チョーク		1 本	
つり袋	下げフック付	一区画につき 1	